

【大学間協定留学】留学近況報告書

記入日	2026年 4月 29日
留学先大学/国名	マレーシア科学大学(日本語名) 国名: マレーシア Universiti Sains Malaysia(現地言語名)
留学先の所属学部等	<input type="checkbox"/> 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: <input checked="" type="checkbox"/> 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している <input type="checkbox"/> その他:
留学期間	2026年3月～2026年7月
明治大学の所属学部等 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部経済学科
学年 ※出発時の本学での学年	2年生

I. 出発前にどのように情報を集め、準備をしましたか。しておいて良かったこと、準備不足だったこと、ぜひ次の学生に準備としてアドバイスしたいことを記述してください。

情報収集の手段としては、過去に留学していた先輩に直接連絡を取り、大学や現地の様子を聞いたり、ビザ申請について相談に乗っていただいたりしていました。また、YouTube、TikTok、InstagramといったSNSを活用して「留学に対する心構え」や、「留学先に持って行ってよかったもの」についての情報を得ていました。ペナンに留学している日本人は多くなく、ほかの国に比べて得られる情報は少なかったですが、できる限りたくさんの情報を集めていたことが役立っているなど感じています。

II-1. 留学のための渡航前手続き(留学ビザ) ※詳細に記入して下さい

ビザの種類: 学生ビザ	申請先: EMGS
ビザ取得所要日数: 2か月 (申請してから何日/ 何週間要したか)	ビザ取得費用: RM1500

1. ビザ取得のためにどのような書類の提出が求められましたか? また、どのように手配しましたか?

offer letter(留学先大学から)
 Passport Copy(パスポートのコピー)
 confirmation letter(明治大学国際連携事務室に申請)
 学生証(明治大学のもの)
 写真(白背景)
 英文の在学証明書
 健康状態申告書(留学先大学指定のフォーマットあり)

2. 具体的な申し込み手順を教えてください。

Offer Letter のメール到着後、Offer Letter の案内に従い、EMGSに必要な書類を提出→eVAL を取得→eVISA を申請(2週間で取得)→マレーシア到着後、大学の指示に従って最終手続き行う→(到着1か月後に)学生ビザ取得

3. ビザ取得の際に、留学先国大使館で面接のあった方は、どのような質問を受けましたか?

なし

4. ビザ取得に関して困った点・注意点

eVISA を申請した際に、間違った書類を申請してしまっていたため、本来 1 日ほどで取得可能なはずが 2 週間もかかってしまいました。書類に誤りがあるとの連絡がきてもその連絡にどの書類が誤りで、どの書類を提出すべきなのか記載されていなかったため、大使館に問い合わせたり、インターネットで調べたり、留学生同士のグループチャットで質問したりするなどかなり時間と労力を費やしました。eVAL の申請の行い方はインターネットにも記載されていますが、eVISA はなかなか情報がないので、万が一の場合に備えて 1 か月ほど前からの申請をおすすめします。

II-2. 留学のための渡航前手続き(その他の事前準備について)

その他済ませておくべき準備があればお書き下さい(現地での現金調達準備、携帯電話購入、荷物運送等)。

現金については、WISEというデビットカードを作り、現地の ATM で引き出す方が手数料も安いので、多くの現金を日本から持って行く必要はないと思います。私は 1 万円分だけ両替して行きました。

また、SIM カードについては、最初の数日間のみ日本で購入していた eSIM を利用し、到着後に現地の通信会社で SIM カードを購入する方法がおすすめです。

III. 現地到着後のながれ

1. 到着時の様子

利用航空会社	Japan Airline, malaysia Airline				
航空券手配方法	Japan Airline 公式ホームページ、Trip.com ※利用した旅行社・旅行サイト、格安航空券情報等があれば記入				
大学最寄空港名	penang international Airport	現地到着時刻	14:50		
キャンパスへの移動手段	<input checked="" type="checkbox"/> 大学手配の出迎え	<input type="checkbox"/> 知人の出迎え	<input type="checkbox"/> 公共交通機関 (<input type="checkbox"/> バス <input type="checkbox"/> 電車)	<input type="checkbox"/> タクシー	<input type="checkbox"/> その他 ()
移動の所要時間	30 分				
空港からキャンパスへの移動の際の注意点、タクシー・公共交通機関で移動する際の行き方、料金等					
大学到着日	3 月 7 日 16 時頃				



2. 住居について	
到着後すぐに住居入居できましたか？	<input checked="" type="checkbox"/> はい <input type="checkbox"/> いいえ いいえを選んだ方: 月 日から入居可能だった。
住居のタイプ	<input type="checkbox"/> 寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> その他()
部屋の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 一人部屋 <input type="checkbox"/> 二人部屋 <input type="checkbox"/> その他()
ルームメイト	<input type="checkbox"/> 日本人学生 <input checked="" type="checkbox"/> 他国からの留学生 <input type="checkbox"/> その他()
住居を探した方法	<input type="checkbox"/> 大学の斡旋 <input checked="" type="checkbox"/> 自分で探した <input type="checkbox"/> その他()
住居の申込み手順	offer letter が届くタイミングで、Telegram というアプリ上で送られてくる留学生グループに参加していました。そこでルームメイトを探していたほかの留学生に連絡をとり、部屋とルームメイトが決まりました。部屋の契約は前のセメスターから現地にいるルームメイトが行ってくれていました。
住居は渡航前に、また渡航後すぐに見つかりましたか？ トラブルはありましたか？	
家を見つけるまでに1か月ほどかかりました。いろいろな留学生に連絡を取りながら情報を集めていたからです。トラブルとしては、私の部屋がとても汚く、それにオーナーも対処してくれなかったことです。個人の部屋にはエアコンがなく大きなファンを使っていたのですが、入居前に掃除がきちんとされていなかったのかベットに横たわると目にファンから落ちてきたほこりが入ってくるため目が開けられない状態でした。また、マットレスがとても汚く少し蕁麻疹の症状も出ました。これを経て半年生活するのは困難と判断し、エージェントの連絡先を留学生からもらい連絡を取り、またルームメイト探しも並行して行い、到着後1週間後に別のコンドミニウムに引っ越しを行いました。	



3. 留学先でのオリエンテーションについて	
オリエンテーションの有無	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
日程	3月9日から3月11日
参加必須ですか?	<input checked="" type="checkbox"/> 必須 <input type="checkbox"/> 任意参加
参加費用は?	<input checked="" type="checkbox"/> 無料 <input type="checkbox"/> 有料(金額:)
内容と様子は?	<p>USM には、“Country Buddies”という現地学生が留学生をサポートしてくれる団体があり、このオリエンテーションウィークは主にその Buddies によって運営されています。1 日目はオリエンテーションとガイダンス、3 日目に行われる“International Culture Showcase”の練習を行いました。2 日目はキャンパスツアー、ガイダンスとジョージタウンツアーがありました。3 日目は“International Culture Showcase”というイベントで、各国のダンスや文化を披露してとても盛り上がりました。</p> <p>このオリエンテーションウィークを通じて、他の日本人留学生やたくさんの外国人留学生と仲良くなることができ、ここで知り合った友人たちとよく遊ぶようになりました。</p> <p>オリエンテーションウィークが、様々な国の学生の友人をたくさん作ることができる最初で最後の機会でもあると思うので(授業などで新たな出会いはありますがあまり多くないです)、是非参加することをおすすめします。</p>
留学生用特別ガイダンス	<input checked="" type="checkbox"/> あった <input type="checkbox"/> なかった
授業開始日	3月17日から



IV. その他、渡航してから必要な手続きについて

1. 現地で滞在許可等の申請の必要はありますか？ いつ、どこで、方法は？ 日数、料金は？ トラブルは？

オリエンテーションウィークの2日目には、大学でVISAを正式に取得するための申請時間が設けられていました。申請料金はRM340で、その場でパスポートを約1か月ほど回収されます。こちらは現金で支払いをしました。また、明治大学の保険とは別に、現地の大学でも保険に加入する必要があり、料金はRM265でした。こちらはカードで支払いが可能でした。

2. その他現地でした手続きは(健康診断、予防接種等)？ いつ、どこで、方法、日数、料金は？ トラブルは？

大学側から予防接種に関する案内は特にありませんでした。私は自分で調べて、留学の1か月前からA型肝炎、腸チフス、狂犬病のワクチンを接種し始めました。留学先ではワクチンを接種していない人も多くいましたが、現地で安心して生活するためには、事前に受けておいて損はないと思います。

また、現地では到着から1週間後に健康診断がありました。費用はRM360で、カードでの支払いも可能です。内容は身長・体重の測定に加え、採血や採尿も行われるなど、想像以上に本格的な検査でした。

3. 現地で銀行口座を開設しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

私は日本でWISEというデビットカードを作りました。他の日本人留学生もほとんどこのカードを持っていました。このカードは、世界中のATMで現地通貨を引き出すことができ、両替所よりもレートがかなり良いのが特徴です。スマートフォンのアプリから簡単にアカウントを作成でき、1200円で物理カードの作成が出来ます。カードが届くまでには約2週間ほどかかりました。

4. 現地で携帯電話を購入しましたか？ 手続方法、必要書類、日数、料金は？ トラブルは？

現地では、日本で使用しているスマートフォンをそのまま利用しています。到着後すぐに使えるよう、事前に3日分のeSIMを購入しておきました。クアラ Lumpur の空港の Hotlink のショップで、SIMカードを購入しました。無制限プランで月額RM50と非常に安く、とても助かっています。引っ越し先のコンドミニアムにはWi-Fiがついていたので最初の1か月以降は6か月で30GB、RM30のプランに変更し、なくなったらまたチャージするかたちをとっています。



V. 履修科目と授業について

1. 履修登録はいつどのような形で行いましたか？

- 出発前に(月 日頃)
 オンラインで登録 志願書類に記入して登録 できなかった その他()
- 到着後に(3月16日頃)
 オンラインで登録 国際オフィス等の仲介 できなかった その他()

登録時に留学生として優先されることはありましたか？

- あった なかった

優先が「あった」方はどのように優先されましたか？

優先が「なかった」方はどのように登録しましたか？

現地の学生は私たち留学生より先に履修登録を行うため、言語科目などの少人数制の授業は現地学生で定員が埋まってしまうことが多いです。そのため、留学生は履修登録が始まったタイミングで、先生に直接メールを送って受講をお願いする必要がある授業もありました。

また、“e-learning”という Oh-Meiji のような現地のポータルサイトがあるのですが、留学生は履修登録が完了するまで利用できません。授業の簡単な説明資料はグループに送られてきましたが、詳しいシラバスは手に入れられない状態で履修登録を行わなければならなかったのが不安でした。また、履修登録はオンラインで行うことができず、直接教授のサインをもらいに行かなくてはならず、その点がとても大変でした。

2. 出発前に授業を登録した方は、現地で変更・追加できましたか？ また希望通りの授業が取れましたか？



VI. 一週間のスケジュール 授業時間、課外活動、勉強時間等、毎日の生活について記入							
	月	火	水	木	金	土	日
5: 00							
6: 00							
7: 00							
8: 00		Malaysian Studies					
9: 00		Malaysian Studies					
10: 00		Malaysian Studies	Economic transformation in Southeast Asia				
11: 00			Economic transformation in Southeast Asia	Introduction to Data Analytics			
12: 00			Economic transformation in Southeast Asia	Introduction to Data Analytics			
13: 00							
14: 00		Chinese language I		Chinese language I			
15: 00		Chinese language I	Introduction to Management	Chinese language I			
16: 00			Introduction to Management				
17: 00							
18: 00							
19: 00							
20: 00							
21: 00							
22: 00							
23: 00							
24: 00							

VII. 現在までの感想

留学先大学、プログラムについて、授業、宿舎、生活全般について等、自由に書いてください。

【授業について】

マレーシアでは、英語が第二言語として使われているため、先生も学生もネイティブほど速く話さず、わかりやすい英語で説明してくれることが多いです。そのため、英語で授業を受けることへのハードルは思っていたよりも低く、間違いを恐れず積極的に発言できる環境だと感じました。

ただ、マレーシア特有のアクセントが強く今でも理解するのが大変な言葉が多いです。そのため、前もって授業資料の予習を行いわからない単語をあらかじめ調べてから授業に臨むようにしています。

また、多くの授業ではレクチャーとは別に「チュートリアル」という時間が設けられており、その時間には学生同士でグループを作り、パワーポイントや動画、レポートを作成したり、発表を行ったりしています。現地学生と協力して進めるため、英語でのディスカッションや役割分担なども多く行えるためよい経験となっています。またこのグループ活動を通して新しい友人たちにも出会えました。

校門から授業のある校舎まで徒歩で約 30 分ほどかかるほど、大学の敷地がとても広いです。授業の取り方を考えないと、10 分間の休み時間では教室移動ができないのでその点も念頭に入れて授業を組んだことが良かったと思います。

【宿舎について】

留学生は寮に住むか、コンドミニウムを探すかを選ぶことができます。寮は月 RM150～300、コンドミニウムは場所にもよりますが大体月 RM500～1000 ほどです。最初からどちらにするか決めることもできますし、最初の 1 週間だけ寮に滞在して、その間にコンドミニウムを探して引っ越し人もいます。

私は、寮のシャワーが水しか出ない点や、キッチンや冷蔵庫がないこと、扇風機しかないこと、自分専用の個室がない点が気になったため、コンドミニウムを選びました。

私の住んでいるコンドミニウムはとてもきれいで快適です。Wi-Fi、プール、ジムが家賃に含まれているため無料で利用できます。24 時間警備員が常駐しており、オートロックもついているので安心して生活できます。ただし、虫(アリやハエなど)は日本より発生しやすいため、掃除を徹底したり殺虫剤を常備したりして対策しています。

生活に必要なものは現地スーパーの「ロータス」で安く揃えることができますし、日本のものが必要なときは、少し高いですがイオンやダイソーでもほとんどのものが手に入ります。日本食も購入できるため、大きな不便は感じていません。

【生活全般について】

マレーシアの物価は円安の影響を受けているとはいえとても安く、外食しても 1 食 200～300 円ほどで食べられます。野菜や果物も日本の半分かくらい価格で、タクシーも 150～300 円ほどとかなりリーズナブルです。移動手段は「Grab」というアプリでタクシーを呼ぶのが一般的です。ただ、日用品は日本のものとあまり値段が変わらないように感じています。

食事は辛いのか甘いのかのどちらかしかなく、辛いものが苦手な私にとって、現地の食事に慣れるのに少し苦労しました。しかしマレー料理だけでなく、中華やインド料理、日本料理などいろいろな国のレストランがたくさんあるので、食事面で辛いと感じたことはありません。治安も良く、一人で出歩いても危険を感じることはほとんどなく、観光客を狙った詐欺も少ないです。現地の人たちはとても親切で、話しかけるとすぐに仲良くなれます。

また、東南アジア全体の物価が安いいため、月曜日や金曜日を休みにして旅行する学生も多いです。私は月曜と金曜を休みにして、タイ、KL などに遊びに行く計画を立てています。一方で、歩道が整備されていなかったり、車も人も信号を守らなかったり、時間に少しルーズな人が多かったりと、日本との違いに驚くこともたくさんあります。宗教上の理由からお酒は少し高めですが、豚肉料理は普通に食べられます。学校のトイレにすらトイレトペーパーがついていないことにはとても驚きました。

人も温かく、買い物や食事に困ることがないため、安心して楽しく生活ができています。大変なことが起きても、気にしすぎず乗り越えられる度胸もついたように感じます。